

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

HP : <https://corporate.piano.or.jp/index.html>

紹介動画を見る ▶

団体概要

音楽で培われる「人間力」を社会の力にしていくことをビジョンに、ピアノを中心とした音楽人材の育成に取り組む団体です。ピアノ指導者を中心とする約 17,000 人の会員が所属し、全国 600 か所以上の活動拠点でピアノコンクール・合同発表会・指導者育成セミナー・アウトリーチ事業など、音楽・芸術教育を普及するための事業を幅広く展開しています。学校と連携する事業としては、音楽室にプロの音楽家を派遣し児童の間近でトークコンサートを行う「学校クラスコンサート」を実施しています。

支援対象

小学校

活動内容・活動状況

ピティナ・学校クラスコンサート

- 事業開始年度:2005 年
- 開催校数:累計 1,376 校(2024 年 3 月末まで)
- 参加児童数:のべ 140,964 名(2024 年 3 月末まで)
- 参加アーティスト数:のべ 460 名(2024 年 3 月末まで)
- 派遣対象校:公立小学校

■事業の特長

- ・小学校の音楽の授業に、当協会会員を中心とした演奏家を派遣し、授業の中で「本物の音楽」に触れてもらう事業。
- ・原則としてピアニストを派遣。学校の希望に応じて弦楽器・管楽器・打楽器の奏者を共演者として派遣する。
- ・ただの鑑賞型コンサートではなく、ピアノの周りに集まって様々な角度から演奏を聴く、ピアノの下にもぐって振動を感じる、解体されたピアノの内部構造を見たり、普段見慣れない共演者の楽器に触れるなど、「五感を使った体感型コンサート」をコンセプトとする。
- ・奏者は演奏だけでなく、作曲家の住んだ国の歴史や文化、作曲背景など、演奏にまつわるお話を交えたトークコンサートを実施する。
- ・児童からの質問コーナーを設けることも多く、双方向のコミュニケーションを重視したコンテンツを提供する。

対応可能時期

随時

必要経費

20,000 円～50,000 円程度／名の派遣
※派遣距離によって、交通費が変動します。

会場・定員・必要備品等

原則として音楽室、1 クラス単位で実施します。ピアノ人材の派遣を中心とするため、ピアノは必須です。

■コロナ禍での実施状況

- ・コロナ以前は、50校前後／年の派遣だったが、コロナ禍で半減し、2021年度は22校での実施。
- ・密を避けるため、ピアノの周りに児童が集まったり楽器に触らせるといった従来の開催は一時中止し、鑑賞型コンサートの中でも距離を取りながら楽器の構造を学ぶ等の工夫を行っている。
- ・本来は音楽室で1クラス単位での実施だが、学校の環境によっては音楽室での開催が密になるため、現在は体育館開催も可能としている(ただし、可能な限り奏者と児童一人ひとりがコミュニケーションできるように、1回の公演あたりの参加児童数は要相談)。

■今後の展開・展望

- ・「ピティナ学校クラスコンサート」はこれまで公立小学校を主な対象校としてきたが、官民連携教育のニーズの高まりを受け、特別支援学校や中高の授業を対象とした新たなアウトリーチ事業の展開も検討したい。
- ・学校での取組に関しては、1回の公演だけでなく、継続的に民間の音楽教育者が学校の音楽教育に協力していくティーチングアシスタントのような事業スキームも模索したい。
- ・当協会の会員はピアノ指導者が多くを占めるが、部活動民営化の動向も踏まえ、合唱部や吹奏楽部の指導者ニーズに提供できるサービスの可能性も検討したい。

担当者より一言

自治体・教育委員会と民間の音楽事業者が連携して芸術で子どもたちを豊かにはぐくむ土壌を整えていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。